

# Fire volunteer

formed by womans

女性の持つ、優しさ、細やかさは、どんな場面でもたくさんの人を救う。それは、災害現場でも変わらない。女性消防団は、その女性としての強さで愛する街を守るために、日々活動している。人の役に立ち、貴重な経験をすることで、それぞれの人生に花を添え、強く、美しく、そして充実感に満ち溢れた人たちがばかりだ。

## いのちを助けるためにできることは



女性分団と呼ばれる、女性消防団員のみが所属するこの分団は、主に予防広報を担当。もちろん大規模災害がおこれば、後方支援隊としても活躍する。

普段は、様々な場所で救急講習を行って、バイスタンダーを育成したり、街頭での啓発活動、幼稚園での防災に関する紙芝居(わくわく消防教室)など幅広く活動している。

男性同様、職種は様々で、子育てや仕事と両立しながらやっている人がほとんど。女性しかいないため、気兼ねなく相談でき、助け合いながら活動をしている。

ラッパ隊や広報企画委員などを兼任している団員もあり、大分市消防団全体の中でも女性の活躍の場がどんどん広がっている。



## 第一線で災害と向き合う



女性消防士が現場活動をするように、消防団にも、男性と同じように災害の第一線で活躍する女性消防団員がいる。2017年から、各方面隊へ女性が入団することができるようになった。

同じように訓練をし、災害が起これば消防車に乗って出動する。消防活動はチームワーク。力が男性より弱いなどは関係ない。それぞれができることを全力で行い、カバーしあい、隊全体で最高の現場活動を行い、市民を守ることが一番大切なことである。